

## R3 信州上田学\_出前講座（丸子修学館高校）【まとめ】

日 時 令和3年12月20日（月）13:40～14:30  
会 場 丸子修学館高校 大講義室  
参加人数 26名（2学年の生徒・教員）

### 【SDGsと探究～「ジェンダー平等を実現しよう」～講義…約50分】

講師：吉澤茉帆さん（選択的夫婦別姓 陳情アクション信州）



### 講義の内容：テーマ「＜結婚＞から考えるジェンダー平等」

丸子修学館高校2学年でキャリア教育の一環として「SDGsと探究」の授業が行われる中、ジェンダー平等について学びを深めるため、結婚を機に「選択的夫婦別姓」を考え、法制化を求める活動を経験された吉澤さんを講師に招き、出前講座を実施した。

#### ○法律上の「結婚」と「事実婚」の違いについて

- ・「結婚」は戸籍の担当窓口への婚姻届の提出が必要、「事実婚」は届出なく、住民票などで示す。
- ・「事実婚」は扶養にこそ入れるが、配偶者の相続や親権の扱いなどで違いがある。
- ・ほかにも保険金の受取り、不妊治療の助成なども自治体や事業者により法律上の夫婦のみが対象となる場合が多くある。

#### ○「選択的夫婦別姓」について

- ・今の日本では婚姻届けを出す時、男女どちらかが必ず苗字を変えなければならないという「強制的夫婦同姓」の制度となっている。
- ・別々の姓として「通称」を使用することもできるが、それを証明するために「戸籍」の写しが必要であり、使い分けるには書類の手続きなどの大変さがある。

※岡谷南高校放送部が制作した「うちって変ですか？」の動画を視聴

#### ○結婚にまつわる言葉について

- ・「入籍」や「嫁入り」、「嫁・主人」など、本来は違う意味で使われる言葉も多くあるので、表現には注意を払う必要があることも知っておいてもらいたい。

### 感想発表（生徒代表より）

- ・今まで深く考える機会はなかったが、結婚を考える時、自分たちで苗字を選択できるようになることがジェンダー平等につながる一つの取組であることなどが分かった。

### 総括（講師による全体まとめ）

- ・この機会に「自分」ならどう考えるか、「自分」にできることなどを考えるきっかけにしてもらいたい。
- ・結婚して子どもが生まれるなど、楽しいことも多くあるので、男性も女性も平等に暮らせるよう考えていってほしい。

